point

**株式会社ポイント**
〒104-0028　東京都中央区八重洲二丁目7番2号　八重洲三井ビルディング10階
Tel. 03-3243-6011　Fax. 03-3243-6022
http://www.point.co.jp/

# INTERIM REPORT 2011

**第61期 中間報告書**　2010.3.1～2010.8.31

point

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
第61期の第2四半期における事業のご報告をするにあたり、
ひとことご挨拶を申し上げます。

代表取締役会長兼社長　**福田　三千男**

## 中期経営計画TOP12で掲げた基本戦略をさらにスピードアップさせ、10年後、15年後を見据えたビジネスモデルの革新を積極的に推進します。

我が国の雇用･所得環境は、厳しい中にもやや和らぎをみせ始めたものの、当社グループの属するカジュアルウェア市場においては、お客様の生活防衛意識や低価格志向の動きから、消費は低迷状況が続いております。また、マーケット環境としては、外資系企業を含めた同業他社との競争が厳しさを増しているとともに、生産面では中国の経済成長に伴う労働力不足や原材料の高騰という事態も起きております。このような厳しい環境の中、当社グループは、前期より中期経営計画TOP12（Take Off Point 2010-2012）をスタートさせ、各ブランドの成長を継続しつつ、永続的な成長に向けて、ブランド価値向上やビジネスモデル強化のための積極的な投資を実施することを基本方針として各種施策に取り組んでおります。

当社は、これまで百貨店と量販店が展開する市場の間に「ファッションカジュアル」という独自の市場を創造して成長を遂げてきたという経緯があります。しかしながら、ファストファッションが台頭する中、百貨店市場や量販店市場との垣根が崩れつつあり、「ファッションカジュアル」というゾーニング自体を見直していく時期にあると考えております。また、グローバル化の進展により、今後は市場としても、生産面においても、より一層世界を意識して戦略を構築して行かざるを得ません。これらのビジネス環境の変化に迅速･柔軟に対応し、10年から15年先を見据えた次のステージへ飛躍するための戦略的な投資が今まさに必要な時期であり、これまでの枠組みを大きく変更して経営基盤（プラットフォーム）の転換を進めていく時だと考えております。

## “世界のお客様・取引先・社員・社会から必要とされる企業”を目指します。

現在進めている施策についてご説明いたします。6月に、各事業の推進力を高めることを狙いに、営業統括本部の再編、コレクトポイント営業本部、新規事業本部の設置等の組織変更を行いました。さらに、生産本部を設置して、長期的な経営戦略に必要な施策を講じていくための体制としました。具体的には、新体制の下、新規ブランドの開発、大型店の展開や外部人材の積極採用、商品の安定調達や品質向上等の施策を進めております。

当社は、過去から、プラットフォームの転換により次への成長を続けてきたという歴史を有しております。水戸の紳士服小売業から始まり、メンズカジュアルショップ、ジーンズカジュアルチェーン、そして現在のSPA型ファッションカジュアルチェーンと3度の変革を成し遂げてきました。当社の現在の企業力は、過去の変革時と比較して桁違いに強くなっており、よりダイナミックな施策を実施し、さらに高い目標に向けて突き進むことができると考えております。

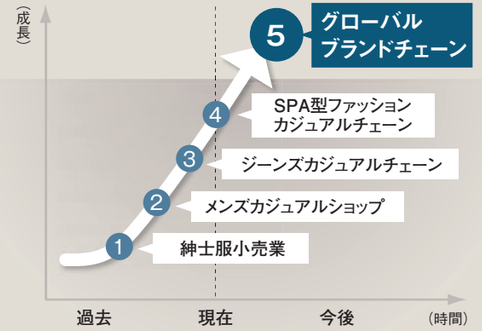
中期の目標イメージとしましては、まずは売上高2,000億円を目指すこととし、その先のさらなる成長を通じて世界で活躍できる規模を達成したいと思います。そのためには、前述した各種施策および投資をしっかりと行っていく必要があります。当面は、戦略的な投資の負担が先行することになりますが、その後の飛躍的な成長を遂げるために力を蓄える時であると考えております。そして、今後も株主の皆様に末永く株式を保有していただけるよう、企業価値の一層の向上を図ってまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**経営方針・戦略**

### 多様な価値観･発想を取り入れることでビジネス環境の変化に迅速･柔軟に対応しプラットフォームの転換を図る

- **変えていくこと**
  - ①新規顧客層へのアプローチ
  - ②多様性･協業･協働
- **変わらないこと**
  - ①店頭起点、顧客視点
  - ②スピード、権限委譲

**当社はプラットフォームの転換により成長**



## 第2四半期累計期間 連結業績レビュー

| | | |
|---|---|---|
| 売上高 | 475億円 | （前年同期比 8.7%増） |
| 経常利益 | 61億円 | （前年同期比 9.9%減） |
| 四半期純利益 | 31億円 | （前年同期比 19.4%減） |
| 店舗数 | 698店舗 | （前期末比 40店舗増） |
| うち海外 | 33店舗 | （前期末比 2店舗増） |

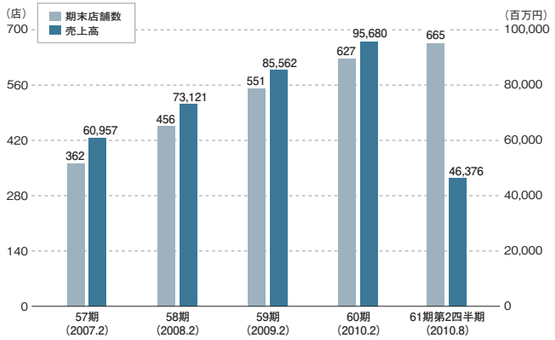
### 第2四半期決算サマリー

- 消費の低迷や天候不順の影響もありましたが、新店の寄与により、売上高は475億円（前年同期比8.7%増）となりました。
- 積極的な店舗展開および処遇の改善に伴う人件費の増加を主因に、販売費及び一般管理費が増加したことから、販売管理費率は47.2%（同1.7ポイント増）となりました。
- 資産除去債務会計基準適用に伴う影響額など特別損失7億円を計上したことから、経常利益は61億円（同9.9%減）、四半期純利益は31億円（同19.4%減）となりました。
- 引き続き積極的な出店を行ったことにより、店舗数は前期末比40店舗増となる698店舗となりました。

## 引き続き戦略的な出店を行い、国内外ともに事業基盤を拡大しました。

当第2四半期の国内既存店売上高は、天候不順の影響もあり前年同期比96.3%（通期計画比0.9ポイントの未達）となりましたが、連結売上高は、新店の寄与などもあり、前年同期比8.7%増の475億51百万円となりました。特に、海外における売上高は前年同期比40.2%増となり、好調に推移しております。
国内の店舗展開につきましては、引き続き積極的に出退店を行い、当第2四半期末時点での国内店舗数は48店舗の出店、10店舗の退店の結果、665店舗（内Eコマースサイト28店舗）となりました。
海外の店舗展開につきましては、上海と台湾の新竹に「コレクトポイント」を各1店舗出店した結果、当第2四半期末時点での海外店舗数は、台湾18店舗、香港13店舗、上海2店舗の計33店舗となっております。
収益面では、市場環境に機動的に対応した売価変更等を行ったことによる売上総利益率の低下、積極的な店舗展開および処遇の改善に伴う人件費の増加を主因に、経常利益は前年同期比9.9%減の61億11百万円となりました。

■ 国内売上高・店舗数の推移

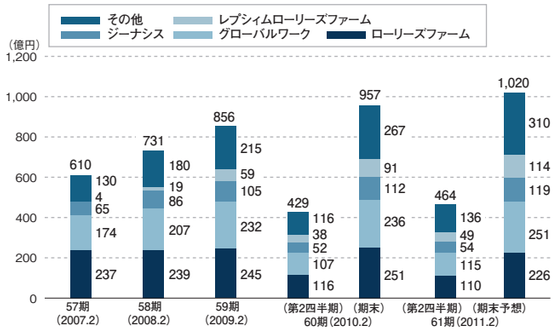



※店舗数には、他社および自社のEコマースサイトを含んでおります。

## 成長期ブランドを中心に堅調に推移するとともに、戦略的な投資をスピードアップさせていきます。

当第2四半期の国内におけるブランド別売上高では、「ヘザー」、「レプシィムローリーズファーム」、「アパートバイローリーズ」、「レイジブルー」が高い伸び率で進捗いたしました。第3四半期以降においては、引き続き成長ブランドおよび海外での出店を継続し、当期末の国内外合計店舗数を前期末比80店舗増の738店舗とする計画です。
通期業績予想につきましては、売上高1,050億円（前期比7.5%増）、経常利益141億円（前期比17.3%減）と修正いたしました。これは第2四半期までの結果や現時点での市場環境と、新しい取り組みを積極的にスタートすることによる経費増を反映した計画としております。具体的には新規ブランドを積極展開することや、大型店であるコレクトポイント新宿店のオープン等が先行投資となること、および外部人材の積極的採用を含めた戦略的な経費増を見込んでおります。

■ ブランド別売上高の推移（国内）




## 通期連結業績予想 （2010年9月30日付修正業績予想）

| | |
|---|---|
| 売上高 | 1,050億円 |
| 経常利益 | 141億円 |
| 当期純利益 | 78億円 |
| 店舗数 | 738店舗 |
| うち海外 | 41店舗 |

### 下期の取り組み

**既存ブランドの成長と変革による業容拡大**
- 派生ブランドによる百貨店・エキナカなどへの販売チャネルの拡大を図ります。
- 大型店・複合店の積極出店による郊外ショッピングセンターでの売場面積拡大を図ります。

**ビジネスモデルの強化による永続的成長**
- 商品企画機能の強化による商品価値の向上を図ります。
- 生産本部の設置による安定調達・品質向上への取り組みを行います。

**将来の成長に向けて新たなマーケットの開拓**
- 「コレクトポイント」ブランド商品の展開による顧客層の拡大を図ります。
- 「ジュエリウム」等の新規ブランドの積極的開発による新規顧客層の獲得を図ります。
- 海外（中国・香港・台湾）における積極展開を行います。

**積極的な人材投資による組織力強化**
- 外部人材の積極採用を行います。

# Point NEWS CLIP

## コレクトポイント事業で新たな取り組みをスタート

**▌百貨店内への初の出店など、新たな取り組みにより、お客様層の拡大を図っています。**

コレクトポイントは、当社がすでに展開している複数のブランドを組み合わせた複合店です。広いフロアの中をブランドごとの仕切りなく商品をディスプレイすることで、普段ご購入いただくブランド以外の商品もコーディネートすることができ、お客様に高い利便性と商品選びの楽しさを提供して、多くのお客様にご支持をいただいています。当第2四半期は、2010年3月に福岡パルコ店を出店し、次いで4月に京都大丸店を出店しました。京都大丸店は、当社初となる百貨店への出店となり、新たなお客様層の拡大を図っています。

コレクトポイント京都大丸店（2010年4月22日オープン）

**▌海外店舗展開の核となり、好調を維持しています。**

コレクトポイント事業の組織強化に伴い、今後はコレクトポイント業態での出店を、海外展開における基本戦略としていきます。これにより従来の店舗より店舗面積を拡大し、好立地への進出を図ります。当第2四半期は、上海における2号店として来福士広場NOVO店をオープンしたほか、9月には上海有力ショッピングセンターに大型店「コレクトポイント ガンフィ店」を出店しました。今後は、好調な香港において大型店出店を検討するほか、将来的には、店舗名としてのコレクトポイントから、インターナショナルブランドとしてのコレクトポイントへの進化を視野に入れ、これまで以上に積極的な海外展開を目指します。

コレクトポイント ガンフィ店（2010年9月3日オープン）

コレクトポイント新宿店（2010年11月3日オープン予定）

**▌2010年11月3日、「コレクトポイント新宿店」オープン**

**国内最大級となる大型旗艦店を国内最大の繁華街にオープン**
**コレクトポイントオリジナル商品も展開**

当社は、国内最大級となる大型旗艦店「コレクトポイント新宿店」を、2010年11月3日にオープンします。このたびオープンする「コレクトポイント新宿店」は、国内最大の繁華街である新宿地区でも有数の通行量を誇る新宿三丁目交差点というロケーションに立地し、当社の人気レディス4ブランドが集積します。さらに、新たな取り組みとして、既存ブランドに加えて、当社の世界戦略を担う新ブランドとしてコレクトポイントオリジナル商品を多数展開します。既存ブランドとは異なる新たな価値を提供するオリジナル商品を展開することで、さらなるお客様層の拡大を図っていきます。

## repipi armario（レピピアルマリオ）の展開を拡大

レピピアルマリオは、13歳～17歳の女の子をターゲットとして誕生した新ブランドです。ちょっと背伸びをしたい女の子のためのティーンズブランドとして、トレンドを反映したアイテムとベーシックなアイテムをMIXしたスタイリングを提案しています。
2010年3月の「心斎橋店」、「大宮店」オープンに続き、4月には「大高店」を出店して大型ショッピングセンターに進出したほか、9月には「木曽川キリオ店」、「浜松志都呂店」を出店し、着実にブランドを成長させています。

レピピアルマリオ 木曽川キリオ店（2010年9月17日オープン）

## 20代女性向け新ブランド“JEWELIUM（ジュエリウム）”をリリース

**── 流行に敏感で高感度な女性のライフスタイルを表現する新ブランドが2010年10月22日、松坂屋銀座店へ1号店としてオープン。**

このたび、当社は20代の女性をターゲットとした新ブランド「JEWELIUM（ジュエリウム）」をリリースしました。
この「JEWELIUM」は西海岸のトップトレンドなカジュアルスタイルと、渋谷の若者達が発信するリアルカジュアルスタイルの良さを併せ持つブランドです。高感度なスタイルを発信しつつ「リアルクローズ・リアルプライス」を大切にし、洗練されたデザインと確かな品質の商品をお買い求めやすい価格で提供していきます。
ウェアだけでなくアクセサリーや帽子等の小物の品揃えを充実させ、店舗環境にもこだわることでトータルでの「JEWELIUM」の世界観を表現し、流行に敏感で感度の高い女性のライフスタイルを表現するブランドでありたいと考えています。

JEWELIUM

# Point NEWS CLIP

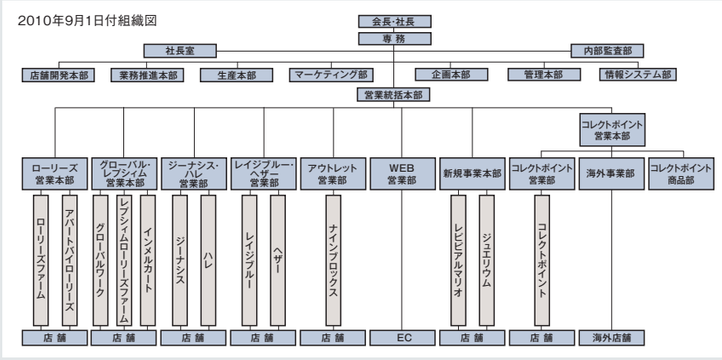
## さらなる成長を目指して、組織体制を整備

**▌ブランド特性に応じた組織に再編しました。**

従来のメンズ・レディスでの組織編成ではなく、郊外型ブランドや、組み合わせによる相乗効果の高いブランド同士の組織体制とし、商品開発力・店舗運営力の強化により既存ブランドの成長を図ります。

**▌事業推進力の強化を目指した組織改正を行いました。**

コレクトポイント事業を重点戦略分野として推進するほか、新たなマーケット・ブランドの開発、各事業部のサポート、商品開発機能の強化など、それぞれの使命を明確化して強力に事業を推進します。




## 等身大のCSR活動を継続

当社は、企業市民としての責任を果たすために、身近なところから始める「等身大」のCSR活動への取り組みを継続的に行っています。新たな取り組みとして、2010年6月に、「子宮頸がん」の認知度向上とがん検診の普及を目的とした「PROTECT A WOMAN FROM CERVICAL CANCER」を実施しました。キャンペーン中はコレクトポイントの店頭ビジュアルを特別バージョンに変更し、オリジナルTシャツを販売。販売代金の一部を「(財)日本対がん協会」に寄付しました。

©ラブラボ・ガンパウダー

## 経営報告会を開催し、事業展開をご説明いたします。

毎年恒例となっております経営報告会を、今回もより多くの株主の皆様にご参加いただけるよう、東京と大阪で開催いたします。昨年も多数の株主様のご参加をいただき、貴重なご意見をうかがうことができました。当社は、この経営報告会を、株主の皆様との交流を図る貴重な機会と考えております。下記のとおり、どちらの会場も週末の開催となっておりますので、今回も多数の方のご参加をお待ちしております。
また、ご参加いただいた方には、粗品をご用意しております。

**ポイント経営報告会**

**東京会場** 日時：2010年11月27日（土）11時～12時
場所：六本木アカデミーヒルズ40 キャラントA

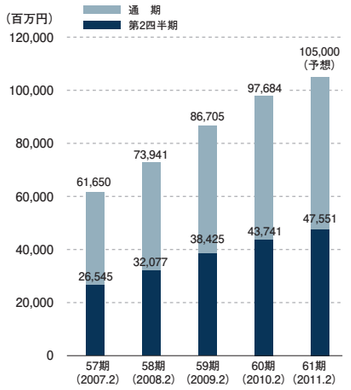
**大阪会場** 日時：2010年11月28日（日）11時～12時
場所：TKP大阪梅田ビジネスセンター ホール15A

※受付開始はいずれも10時30分を予定しております。
※詳細は同封しておりますご案内状をご覧ください。

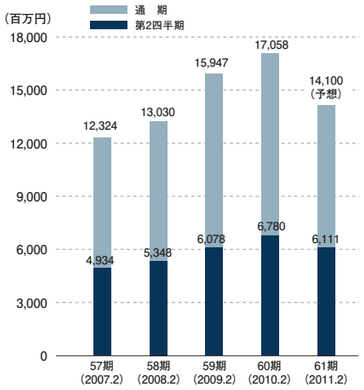


## 財務ハイライト（連結） Financial Highlights (Consolidated)

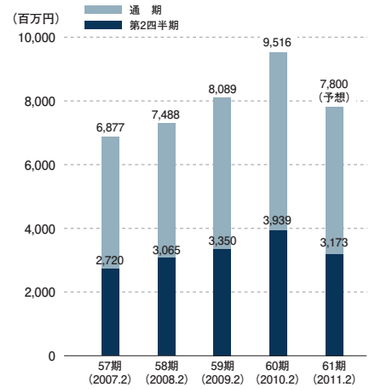
**売上高**



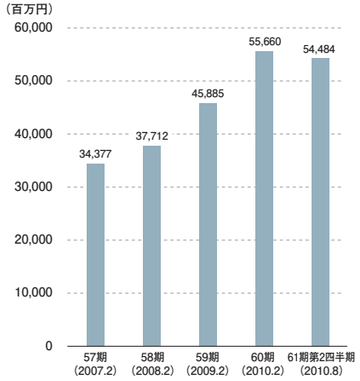

**経常利益**



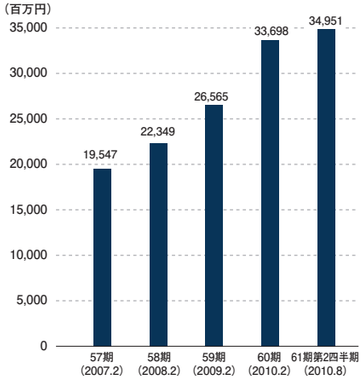

**当期（四半期）純利益**



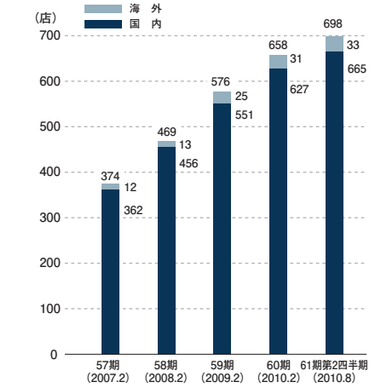

**総資産**




**純資産**




**店舗数**



## 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

| 科　目 | 当第2四半期 (2010年8月31日現在) | 前期 (2010年2月28日現在) |
|---|---|---|
| ●資産の部 | | |
| 流動資産 | 33,317 | 35,839 |
| 現金及び預金 | 14,184 | 15,213 |
| 売掛金 | 4,403 | 4,016 |
| 有価証券 | 8,998 | 11,497 |
| 商品 | 4,643 | 3,662 |
| その他 | 1,110 | 1,505 |
| 貸倒引当金 | △ 22 | △ 56 |
| 固定資産 | 21,166 | 19,820 |
| 有形固定資産 | 7,414 | 6,206 |
| 無形固定資産 | 680 | 561 |
| 投資その他の資産 | 13,071 | 13,052 |
| 敷金及び保証金 | 9,765 | 9,866 |
| その他 | 3,625 | 3,344 |
| 貸倒引当金 | △ 319 | △ 158 |
| 資産合計 | 54,484 | 55,660 |
| ●負債の部 | | |
| 流動負債 | 18,789 | 21,478 |
| 買掛金 | 11,483 | 11,945 |
| 未払法人税等 | 2,447 | 3,358 |
| 賞与引当金 | 1,085 | 1,316 |
| その他 | 3,772 | 4,856 |
| 固定負債 | 743 | 484 |
| 引当金 | 622 | 436 |
| その他 | 120 | 48 |
| 負債合計 | 19,533 | 21,962 |
| ●純資産の部 | | |
| 株主資本 | 35,014 | 33,544 |
| 資本金 | 2,660 | 2,660 |
| 資本剰余金 | 2,517 | 2,517 |
| 利益剰余金 | 30,191 | 37,044 |
| 自己株式 | △ 355 | △ 8,677 |
| 評価・換算差額等 | △ 260 | △ 23 |
| 新株予約権 | 36 | 24 |
| 少数株主持分 | 160 | 152 |
| 純資産合計 | 34,951 | 33,698 |
| 負債及び純資産合計 | 54,484 | 55,660 |

### 有価証券

短期運用としてコマーシャル・ペーパー、国債を購入しています。

### 有形固定資産

店舗内装等について、前期より従来のリースから固定資産計上に変更しています。

### 敷金及び保証金

国内店舗数が48店舗増加※したことに伴い、出店時にデベロッパーへ預け入れる敷金及び保証金を計上しています。

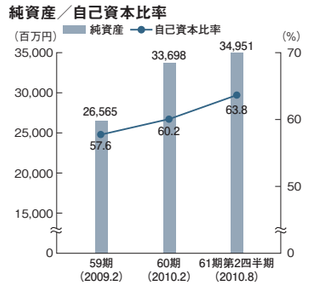
※Eコマース店舗を除く。

### 自己株式

2010年8月10日、自己株式1,590,720株を消却しました。

### 純資産

毎期着実に純資産の積み上げを図っています。




## 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科　目 | 当第2四半期 (2010年3月1日～2010年8月31日) | 前第2四半期 (2009年3月1日～2009年8月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 47,551 | 43,741 |
| 売上原価 | 19,073 | 17,116 |
| 売上総利益 | 28,478 | 26,624 |
| 販売費及び一般管理費 | 22,458 | 19,901 |
| 営業利益 | 6,019 | 6,722 |
| 営業外収益 | 97 | 116 |
| 営業外費用 | 5 | 58 |
| 経常利益 | 6,111 | 6,780 |
| 特別利益 | 2 | 66 |
| 特別損失 | 733 | 149 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,380 | 6,697 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,345 | 2,129 |
| 法人税等調整額 | △ 154 | 625 |
| 少数株主利益 | 15 | 2 |
| 四半期純利益 | 3,173 | 3,939 |

### 特別損失

資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額のほか、退店・改装に伴う賃貸借契約解約損、固定資産除却損および減損損失を計上しました。

#### 退店

当第2四半期は、店舗戦略の見直し等により、個々に十分な検討を行った結果、10店舗の退店を行いました。

#### 改装

当第2四半期も、店舗鮮度維持、ブランド価値向上を狙って、15店舗（国内13、海外2）の改装を行いました。

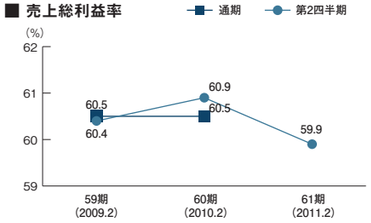
ローリーズファーム　木曽川キリオ店（2010年7月リニューアル）

#### 減損損失

一定の基準に基づき、減損損失を計上しております。当第2四半期は、8店舗が対象となり143百万円を計上しました。

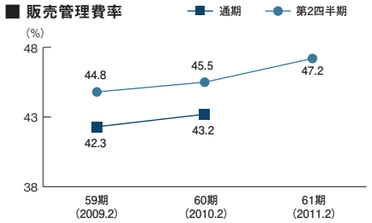
### 売上総利益の状況

市場環境に機動的に対応した売価変更等を行った結果、売上総利益率は59.9%となりました。




### 販売費及び一般管理費

積極的な店舗展開および処遇の改善に伴う人件費の増加を主因に、販売費及び一般管理費が増加したことから、販売管理費率は47.2%となりました。



四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）　（単位：百万円）

| 科　目 | 当第2四半期（2010年3月1日～2010年8月31日） | 前第2四半期（2009年3月1日～2009年8月31日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,362 | 1,657 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,653 | △ 2,191 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,702 | △ 1,460 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 35 | 21 |
| 現金及び現金同等物の増減額（減少:△） | △ 3,029 | △ 1,973 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,200 | 20,302 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 23,171 | 18,329 |

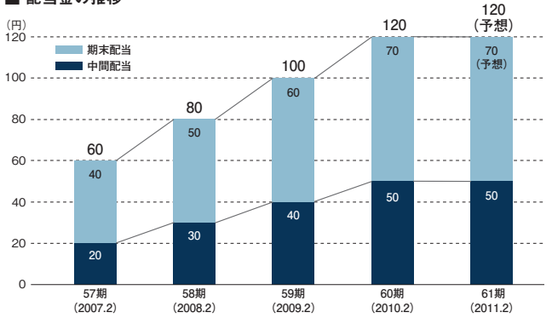
**投資活動によるキャッシュ・フロー**
茨城県東茨城郡に、新物流センターを建設しました。
2010年8月より稼働しています。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**
前期（第60期）の期末配当金の支払いによるものです。
第59期に比べ10円の増配となったため増加しております。

## 株主の皆様への還元について

当社は、株主の皆様に株主としてだけでなく顧客としても満足していただけるよう、魅力あるブランドの開発、商品の提供に必要な事業への投資を行い、一層の企業価値（株主価値）の向上を図っていくことを基本方針としています。そして、株主の皆様への還元については、配当を連結配当性向30%を基準に実施してまいります。
当期の中間配当金につきましては、1株当たり50円（前期の中間配当と同額）とさせていただきました。当期の期末配当予想は1株当たり70円（前期末と同額）ですので、年間配当は120円の予定です。

■ 配当金の推移




### ホームページのご案内

詳細の財務情報は当社ホームページに掲載しております。
その他、最新の情報も掲載しておりますので、是非ご利用ください。

**http://www.point.co.jp/ir/**

ポイント　検索



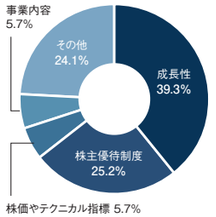


当社では、株主の皆様のご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第60期年次報告書をお送りした全ての個人株主の皆様を対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。
ご協力いただいた皆様にあらためてお礼申し上げますとともに、その結果の一部を以下のとおりご報告申し上げます。
皆様からいただきました貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

**調査概要**
調 査 対 象：全株主11,448名
調 査 方 法：第60回定時株主総会決議ご通知に同封（2010年5月28日発送）
有効回答者数：1,230名（返送率：10.7%）

### 1 株式購入時に最も重視した点は「成長性」

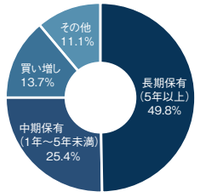
■当社株式を購入された際に最も重視されたこと




「成長性」を購入理由に挙げていただいた株主様が39.3%と、今後も持続的成長を期待されるご意見が多い結果となりました。次いで、「株主優待制度」（25.2%）、「株価やテクニカル指標」（5.7%）、「事業内容」（5.7%）となりました。

### 2 当社株式の保有方針は「長期保有」

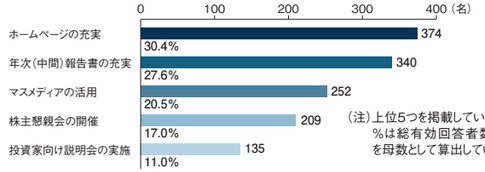
■当社株式の保有方針について




当社株式の保有方針をお聞きしたところ、「長期保有（5年以上）」が49.8%と、前回に比較して7.8ポイント増加しました。引き続き株式を保有いただけるよう、企業価値の向上に努めてまいります。

### 3 今後の情報開示で望まれることは「ホームページの充実」

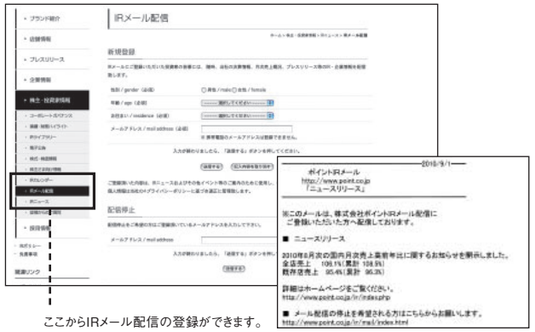
■今後の情報開示およびコミュニケーション活動で望まれること




（注）上位5つを掲載しています。
%は総有効回答者数（1,230名）を母数として算出しています。

「ホームページの充実」を30.4%の方が挙げてくださいました。当社のIRサイトでは、ニュースリリースや売上速報などの迅速な情報開示のほか、動画による説明会の模様の配信など、多彩なコンテンツを揃えております。株主の皆様へのきめ細かな情報提供を目指し、引き続き内容の充実に努めてまいります。なお、IRメールにご登録いただいた方には、随時、当社の決算情報、月次売上概況、プレスリリースなどのIR・企業情報を配信しております。皆様とのコミュニケーションを深める一助としたいと考えておりますので、是非ご活用ください。

**http://www.point.co.jp/ir/**




ここからIRメール配信の登録ができます。

# 会社概要 （2010年8月31日現在） Company Outline

## ■会社概要

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社ポイント |
| 本部 | 東京都中央区八重洲二丁目7番2号<br>八重洲三井ビルディング10階 |
| 代表電話 | 03-3243-6011 |
| 設立 | 1953年10月 |
| 資本金 | 2,660百万円 |
| 代表者 | 代表取締役会長兼社長　福田　三千男 |
| 事業内容 | カジュアルウェア専門店チェーン |
| 事業所 | 水戸本店　　東京本部　　国内店舗数　665店舗 |
| 主要取引銀行 | 三菱東京UFJ銀行　常陽銀行 |
| 社員数 | 正社員1,746名 |
| 平均年齢 | 27.8歳 |

## ■取締役・監査役

| | |
|---|---|
| **代表取締役会長兼社長** | 福田　三千男 |
| **代表取締役専務執行役員** | 遠藤　洋一 |
| **取締役専務執行役員** | 久保木　大世 |
| **取締役常務執行役員** | 櫻井　健一 |
| **取締役常務執行役員** | 時松　克治 |
| **取締役常務執行役員** | 松田　毅 |
| **取締役常務執行役員** | 五十嵐　俊弘 |
| **取締役** | 加藤　章 |
| **常勤監査役** | 新名　宏志 |
| **監査役** | 横山　哲郎 |
| **監査役** | 前川　渡 |
| **監査役** | 髙橋　惇 |

※取締役のうち、加藤章は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※監査役のうち、新名宏志、横山哲郎、前川渡は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## ■連結子会社

### 株式会社ポジック

| | |
|---|---|
| 資本金 | 10百万円 |
| 当社の出資比率 | 100% |
| 主な事業内容 | 当社取扱商品の物流業務 |
| 事業所 | 水戸物流センター、福岡物流センター、茨城西物流センター |

### 波茵特股份有限公司

| | |
|---|---|
| 資本金 | 10百万台湾ドル |
| 当社の出資比率 | 100% |
| 主な事業内容 | 台湾における衣料販売業務 |
| 事業所 | 台北本部　台湾店舗数 18店舗 |

### POINT HOLDING CO., LTD

| | |
|---|---|
| 資本金 | 48百万香港ドル |
| 当社の出資比率 | 75% |
| 主な事業内容 | 香港における衣料販売業務 |
| 事業所 | 香港本部　香港店舗数 13店舗 |

### 方針（上海）商貿有限公司

| | |
|---|---|
| 資本金 | 23百万香港ドル |
| 出資者 | POINT HOLDING CO., LTD 100%<br>※POINT HOLDING CO., LTDは当社75%出資会社です。 |
| 主な事業内容 | 中国における衣料販売業務 |
| 事業所 | 上海本部　上海店舗数 3店舗 |



# 株式情報 （2010年8月31日現在） Stock Information

## ■株式の状況

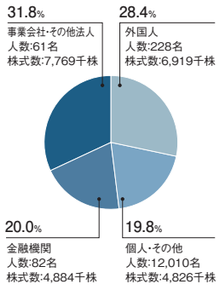
発行可能株式総数……50,000,000株
発行済株式の総数……24,400,000株
株主数……12,381名

### 大株主（上位10名）

| 株主名 | 持株数（千株） | 持株比率（%） |
|---|---|---|
| 株式会社テツカンパニー | 2,244 | 9.22 |
| 株式会社武平 | 1,500 | 6.16 |
| 株式会社月岡 | 1,500 | 6.16 |
| 株式会社フクゾウ | 1,418 | 5.83 |
| 福田　三千男 | 1,219 | 5.01 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 1,148 | 4.72 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 837 | 3.44 |
| ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント | 646 | 2.66 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 574 | 2.36 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 570 | 2.34 |

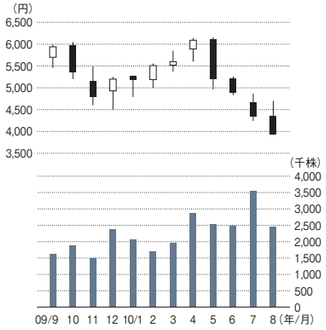
※持株比率は自己株式（67,884株）を控除して計算しております。

## ■所有者別株式数分布状況




※金融機関には金融商品取引業者を含みます。

## ■株価・売買高の推移




## ■株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 3月1日～翌年2月末日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 2月末日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 8月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年5月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711（通話料無料） |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う<br>公告掲載URL http://www.point.co.jp/<br>（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。） |

（ご注意）
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ■株主優待制度のご案内

株主の皆様には、株主であると同時に当社商品のファンであって欲しいという思いから、当社の株主優待制度は、商品引換券といたしております。当社株式をご所有の株主の皆様に、下記内容にて全国の当社店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただいております。
（権利確定日:2月末）

| 所有株式数 | 商品引換券贈呈額 |
|---|---|
| 10株以上100株未満 | 2,000円 |
| 100株以上1,000株未満 | 5,000円 |
| 1,000株以上5,000株未満 | 10,000円 |
| 5,000株以上 | 20,000円 |